

福証IRフェア  
2017.8.8



～人にあたたかい空間づくりをめざして～

株式会社 富士ピー・エス

(証券コード：1848)

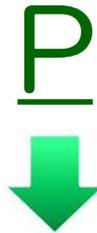
# 持続型社会の基盤を 支える技術力

Prestressed Concrete

# PCとは



富士ピー・イス



(P)プレ=前もって

(S)ストレス=<sup>ちから</sup>力

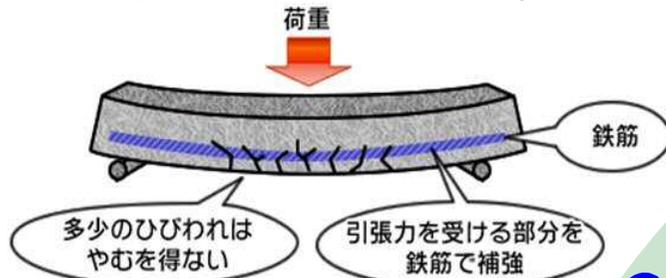
PC = Prestressed Concrete

(あらかじめ 圧縮力を加えられた コンクリート)

# PCとは

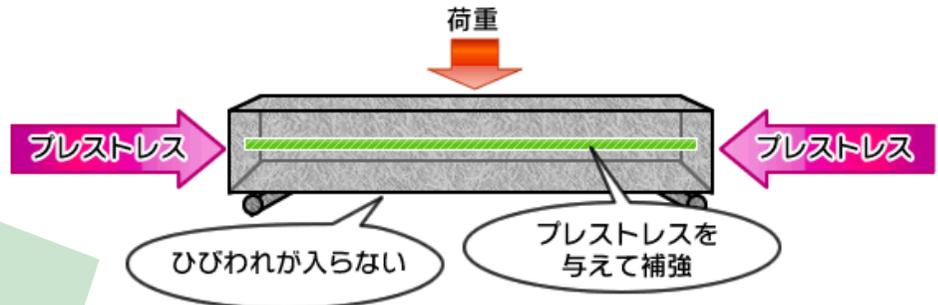
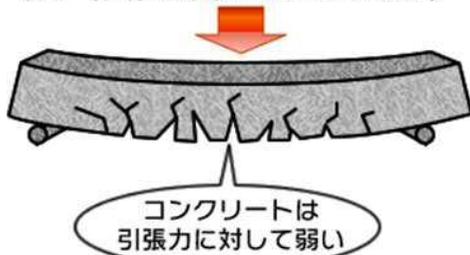
## プレストレストコンクリート(PC)

### 鉄筋コンクリート (RC)

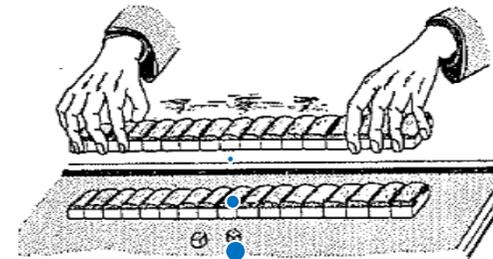


### 無筋コンクリート

荷重 (物体に外部から加えられる力)



高品質・災害に強い



原理は麻雀の牌を持ちあげるときと同じ!

# 持続型社会の基盤を支える技術力

## 1 地震に強い

☞ 土木と建築が融合した技術力で命を守る

## 2 インフラの長寿命化

☞ 耐久性に優れた高品質なインフラを未来へ繋ぐ

## 3 施工の省力化

☞ ロボットと工場製品の活用で人材不足を克服する

## 4 世界への挑戦

☞ 日本品質で世界の技術発展に貢献する

# 1 地震に強い

熊本地震に耐えたPC橋  
「タフなPC構造物」

大地震に対してもPC橋は健全であった



阿蘇長陽大橋（出所：国土交通省）

大震災にその効果を発揮した耐震補強  
「平行ユニットフレーム工法」

平行ユニットフレーム工法は、  
確かな耐震補強効果が立証された



# 1 地震に強い

## 土木と建築を融合した技術開発

パラレル構法、スマイルパラレル工法  
～橋梁技術を建築に応用した耐震補強工法～  
「完全居ながら施工」を実現

斜張橋



パラレル



東京都私立聖学院小学校

応用

スマイルパラレル



東京都営新河岸アパート

改良

# 1 地震に強い

将来展望

## 集合住宅向け耐震補強

- 住宅分野は多くの未改修物件が残る
- 集合住宅向け耐震補強事業を推進
- スマイルパラレル工法で「完全居ながら施工」を実現

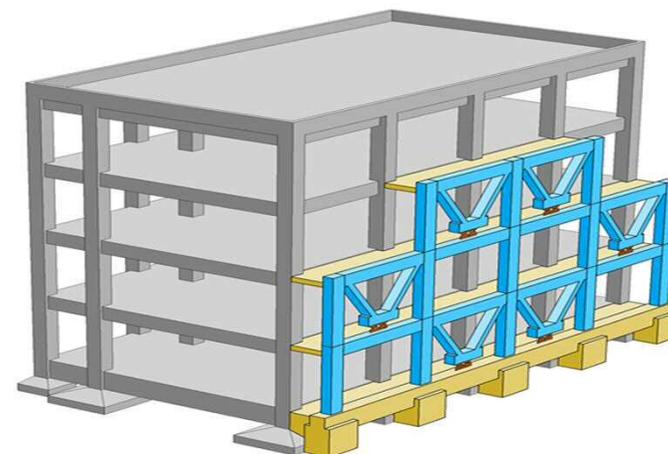
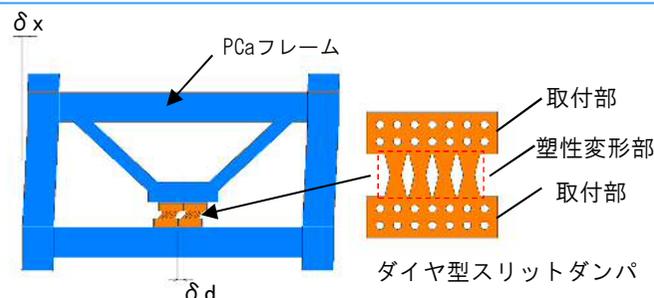
《スマイルパラレル工法のメリット》

住宅補強を行う際は、住環境に対して一層の配慮が求められる

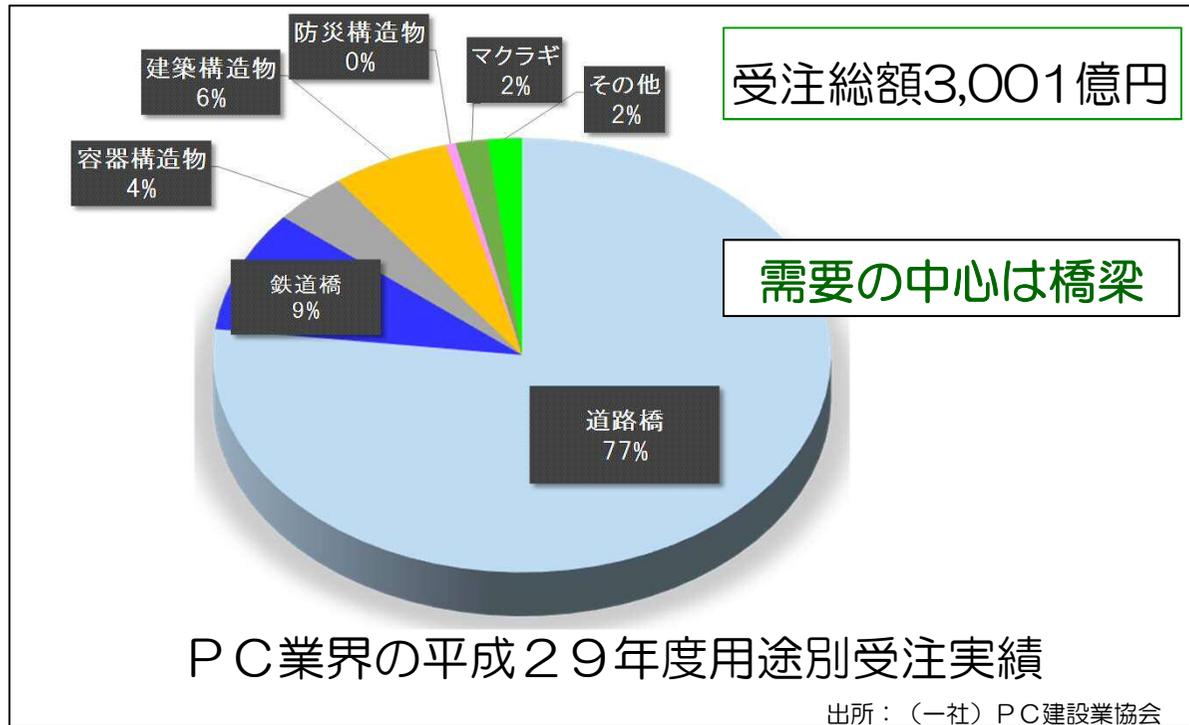
- ① 居室内工事が全くない、完全外工事である
- ② 工事中の騒音・振動・粉塵の発生が少ない
- ③ 構面当たりの補強耐力が高い



## スマイルダンパフレームの開発



## 2 インフラの長寿命化(PCの用途)



道路橋



鉄道橋 (新幹線)



建築構造物 (FR板)

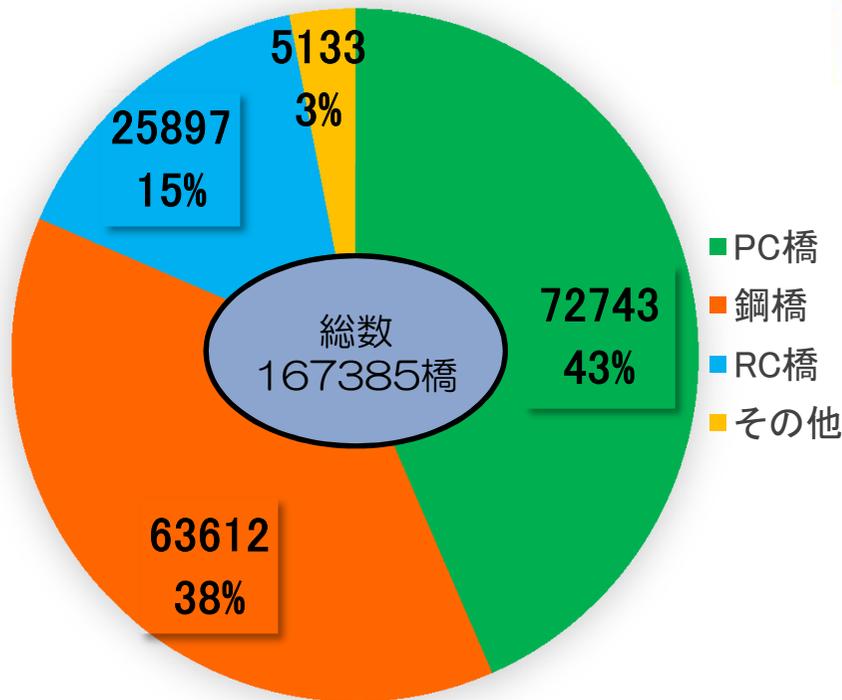


建築構造物 (PCaPC)



容器構造物 (タンク)

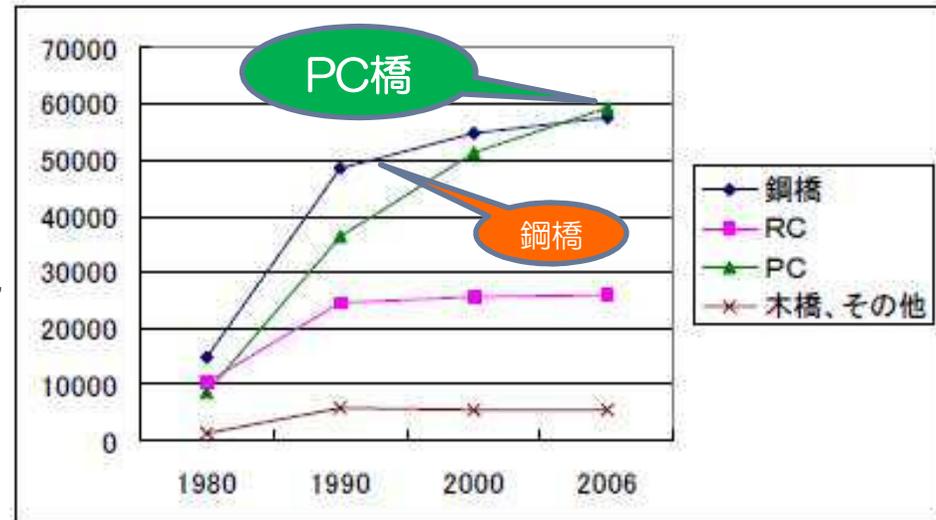
## 2 インフラの長寿命化(PC橋のシェア)



国土交通省 道路統計年報2015 抜粋

### 2006年 PC橋の比率が鋼橋を逆転

橋種別橋梁数の推移(15m未満の橋梁は除く)



国土交通省 道路橋の予防保全に向けた有識者会議(第一回)資料 抜粋

### 【PC橋の優位性】

1. 塗装塗り替え代などのコストがかからない
2. 建設過程でのCO2の発生が少ない
3. 走行時の騒音が少ない

## 2 インフラの長寿命化(特殊大型施工機械の保有)

### 張出工法

- 河川や溪谷でも高品質で建設可能



### 移動支保工

- 全天候型の作業環境を提供
- 工場のような現場作業で技能労働者を半減



## 2 インフラの長寿命化

## その他の施工実績

〈PCタンク〉



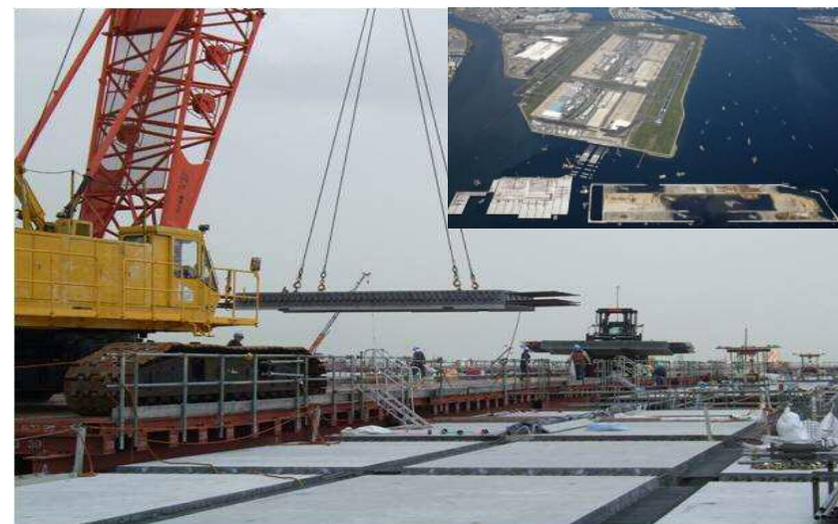
〈PC浮体構造(洋上風力発電)〉



〈PC舗装〉



〈PC栈橋〉



## 2 インフラの長寿命化

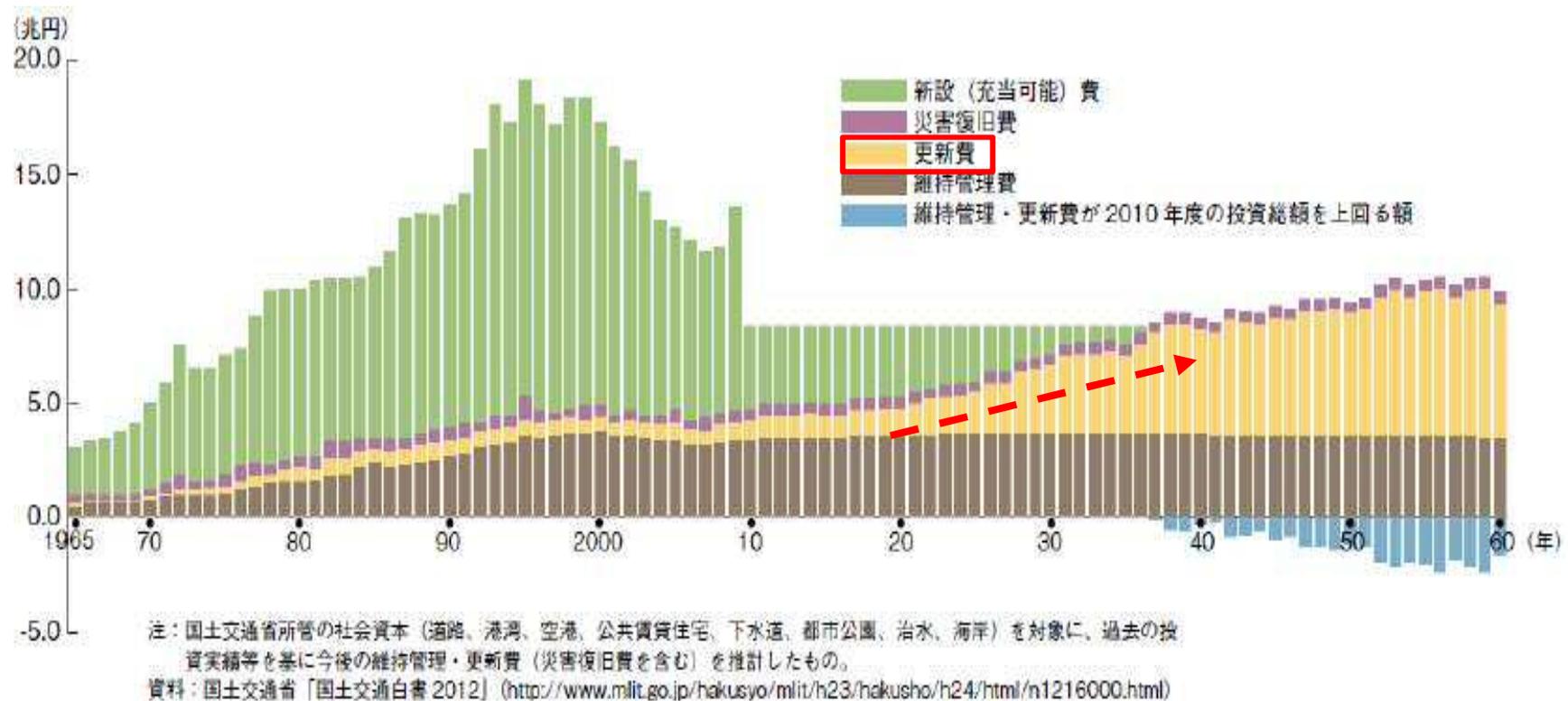
将来展望

増加する維持・補修・更新事業への積極参入

今後急速に進行する公共インフラの老朽化

- 高度経済成長期に整備された公共インフラの多くが50年を経過
- 集中的に更新を必要とする時期を迎える

➤維持・補修・更新の様々なニーズに応えるための技術開発に注力

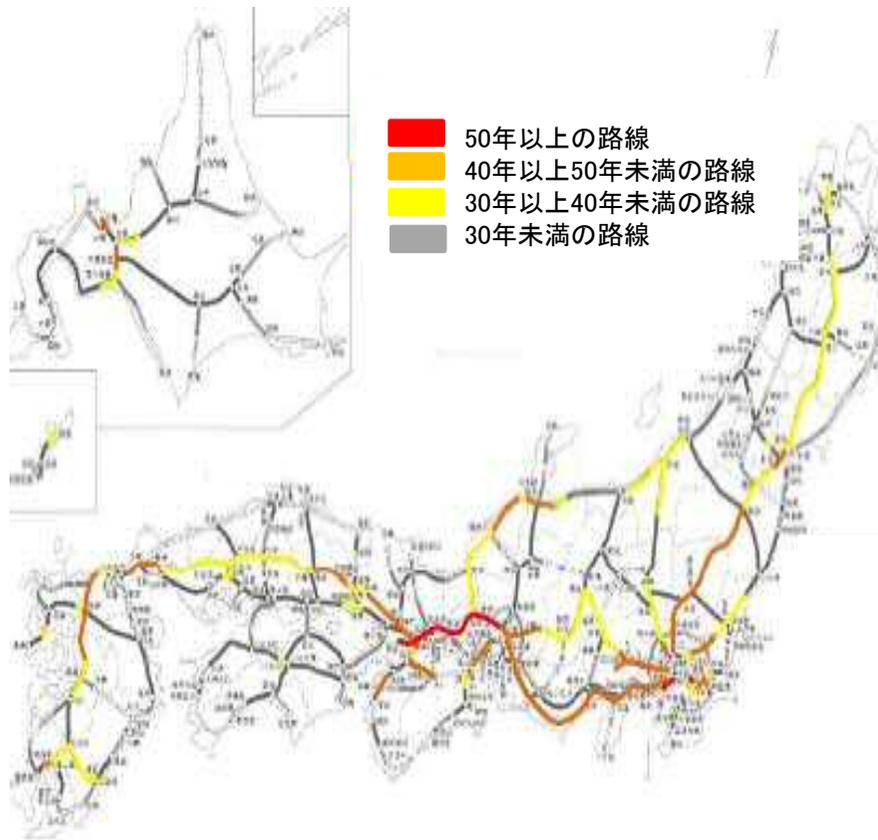


## 2 インフラの長寿命化

将来展望

日本国内の高速道路の老朽化（経年劣化）リスクの高まりが懸念され、NEXCO3社・首都高速・阪神高速は、「高速道路の更新計画」を発表

供用30年以上の路線（H25年度末）



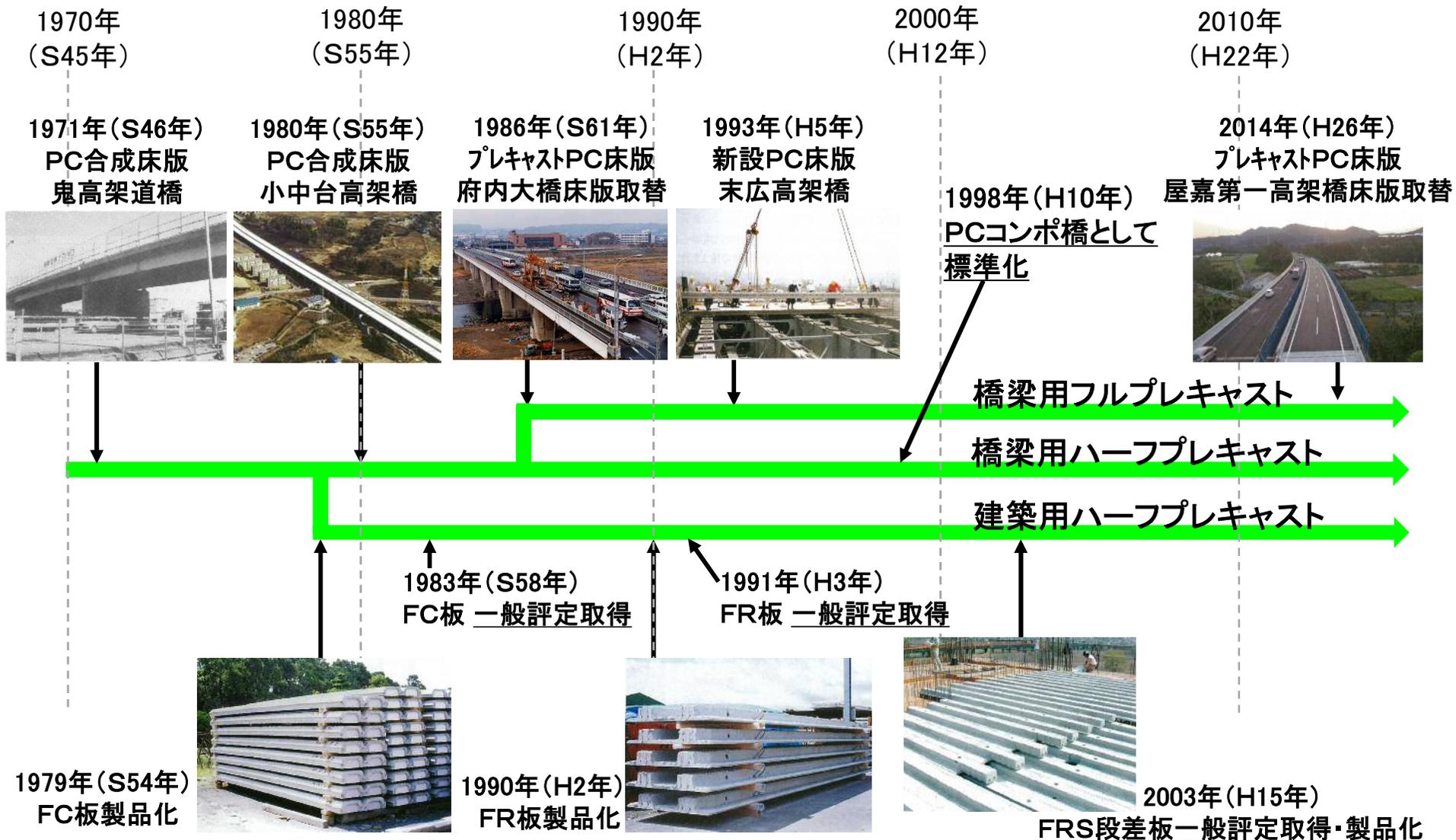
NEXCO3社の更新計画

分類	区分	項目	主な対策	対策箇所	延長	事業費
大規模更新	橋梁	床版	床版取替	中央自動車道など	224km	16,429億円
		桁	桁の架替	阪和自動車道など	13km	1,039億円
	小計					
大規模修繕	橋梁	床版	高性能床版防水など	東北自動車道など	359km	1,601億円
		桁	桁補強など	東名高速道路など	151km	2,628億円
	土構造物	盛土・切土	水抜きポーリングなど	中国自動車道など	26,556箇所	4,775億円
	トンネル	本体・覆工	インパートなど	北陸自動車道など	131km	3,593億円
小計						12,597億円
合計						30,064億円

（出所：NEXCO東・中・西日本「高速道路の更新計画について」）

# 2 インフラの長寿命化

## プレキャストPC床版のパイオニア





源田橋（鳥取県）

《外ケーブルによる桁補強、炭素繊維シートによる床版補強》



首都高速道路（東京都）

《炭素繊維シートによる床版補強》



屋嘉第一高架橋（沖縄県）

《既存床版を撤去、新たにプレキャストPC床版を設置》

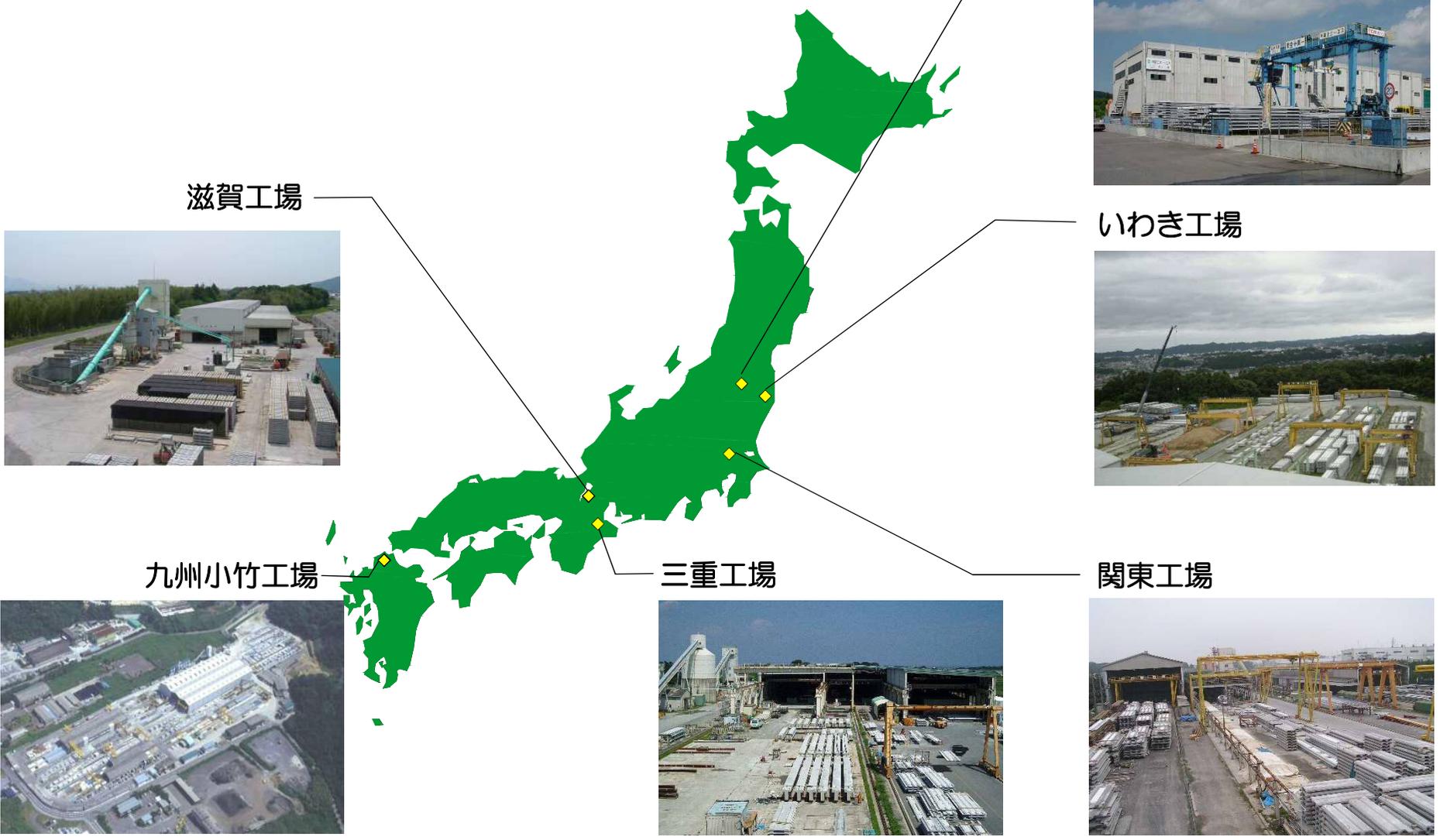


本村川橋（広島県）

《既存床版を撤去、新たにプレキャストPC床版を設置》

### 3 施工の省力化

全国に最新鋭設備の工場を保有



東北工場



いわき工場



関東工場



三重工場



九州小竹工場



滋賀工場



### 3 施工の省力化

全国に最新鋭設備の工場を保有

《工場設備》 当社特許技術》

- 自動生産ラインによる省人化
- BIMによる情報化施工
- ロボット技術による省力化



ワイヤー加工ロボット



IM



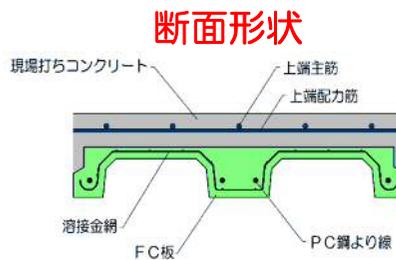
スリップフォーマー

### 3 施工の省力化

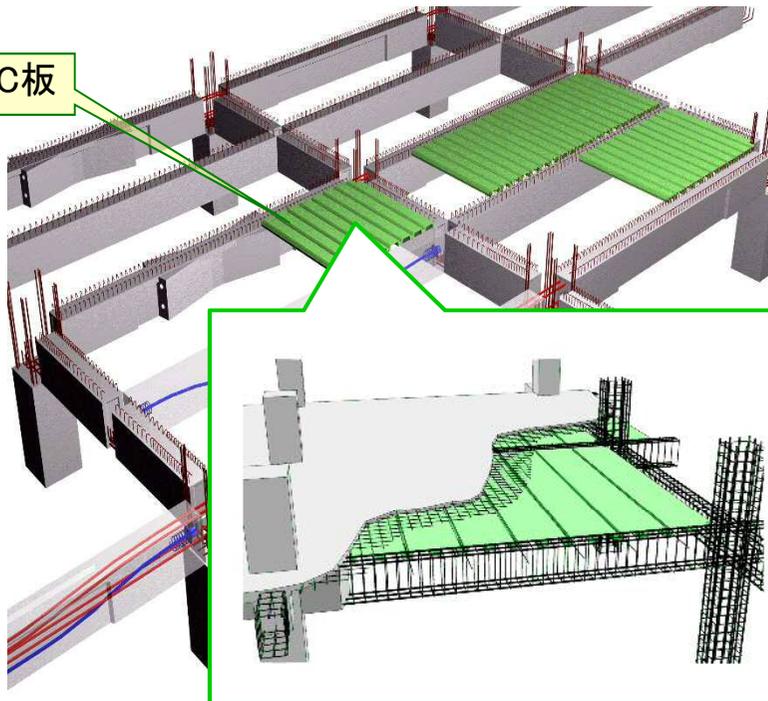
土木と建築を融合した技術開発

マンション・ビル・物流の床部材

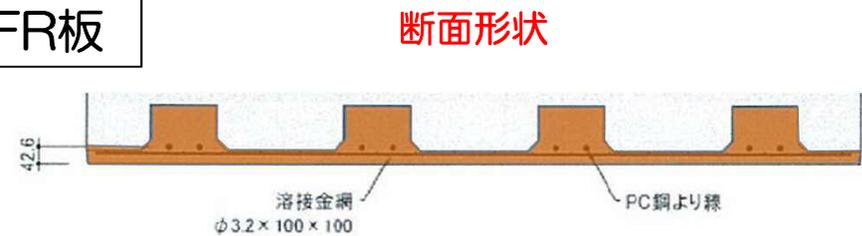
FC板



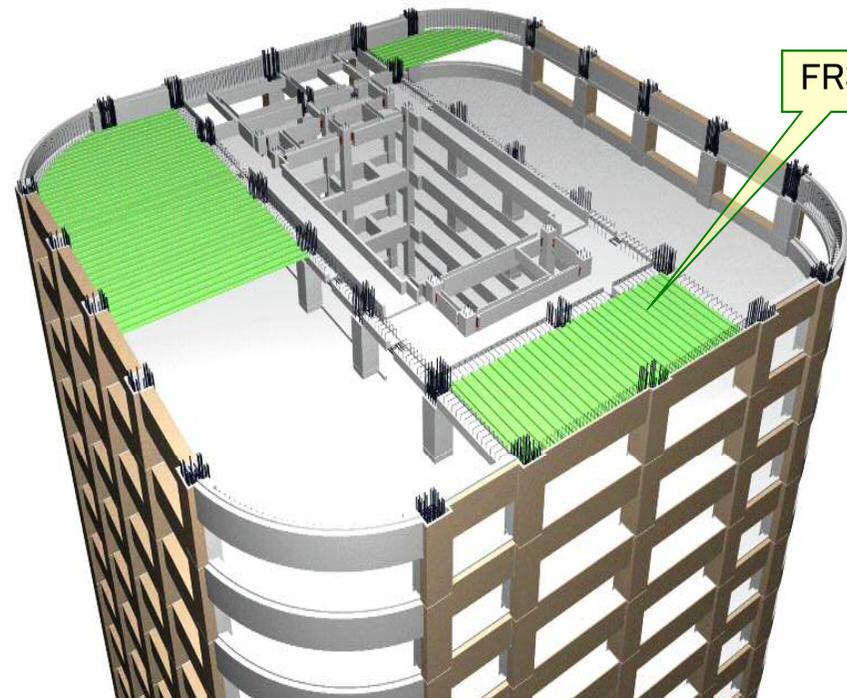
FC板



FR板



FR板



### 3

## 施工の省力化

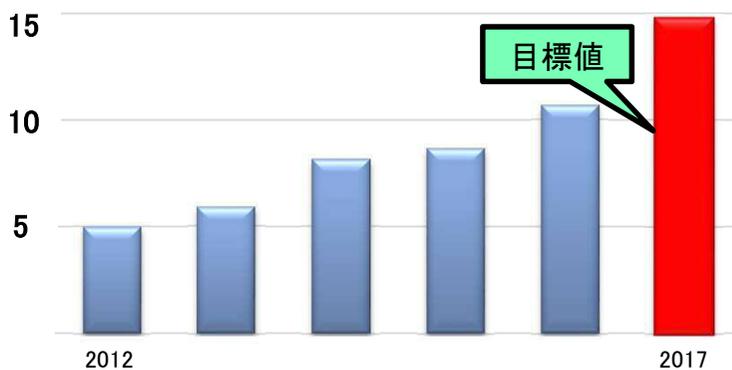
## 将来展望

### 建築分野での事業拡大

#### PCaPC工法

工場で製作したPCa部材の柱・梁を現場で組み立てる工法

(億円) 過去5年間の売上高の推移



スタジアム



復興住宅



データセンター



チャペル

## 4 世界への挑戦

### ミャンマーを中心とした海外事業展開

#### ミャンマーに子会社設立

- ミャンマー国では今後益々の経済発展が期待
- 住宅開発や鉄道・高速道路のインフラ関連プロジェクトが計画
- 「東南アジア最後のフロンティア」として注目
- 同業他社に先駆けて、平成26年11月に現地子会社を設立
- 将来の事業展開に備え、同国大学卒のエンジニアを14名採用

#### ◆ミャンマーの道路事情 (道路舗装率)

舗装道	➢ 29%
砂利道	➢ 18%
土道	➢ 52%
他	➢ 1%

インフラ整備が遅れている!

上記の率は、平成24年度に実施した「日ミャンマー技術協力推進事業」  
(発注機関：国土交通省 総合政策局)の結果を参考に記載



## 4 世界への挑戦

将来展望

### ミャンマーを中心とした海外事業展開



- ・ミャンマー鉄道局発注工事のPC橋上部工事において地元ゼネコンと技術協力契約を締結し技術指導を実施  
また、マクラギ製作事業への参画も営業展開中
- ・その他、台湾・インドネシア・ベトナム・キルギスで事業を実施

# 会社概要

# 会社概要

## プレストレストコンクリート（PC）技術による 土木・建築の建設業

■上 場：東証2部、福証（証券コード：1848）

■資本金：23億7,927万円

■連結売上高：216億円（2017年3月期）

■本 社：福岡市中央区薬院一丁目13番8号

■従業員数：373名（2017年3月末現在）

■取引先：国土交通省、都道府県市町村、  
高速道路各社、鉄道・運輸機構、  
JR各社、UR、民間企業 他

# 会社概要(セグメント)

## ■ 土木事業

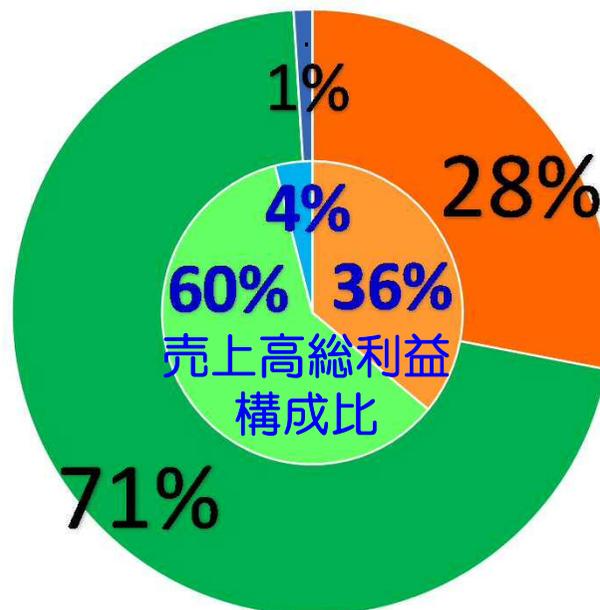
- 橋梁（道路橋、鉄道橋）
- タンク（容器構造物）
- マクラギ、メンテナンス



## ■ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸、管理等

### 売上高構成比 (2017年3月期)



## ■ 建築事業

- マンション、オフィスビル
- 物流、スタジアム
- 耐震補強

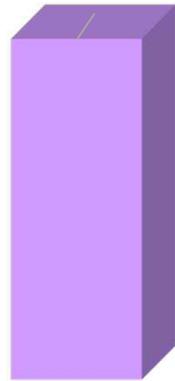


# 会社概要(ネットワーク)

## 地域別売上高

(単位:億円)

72



九州エリア

88

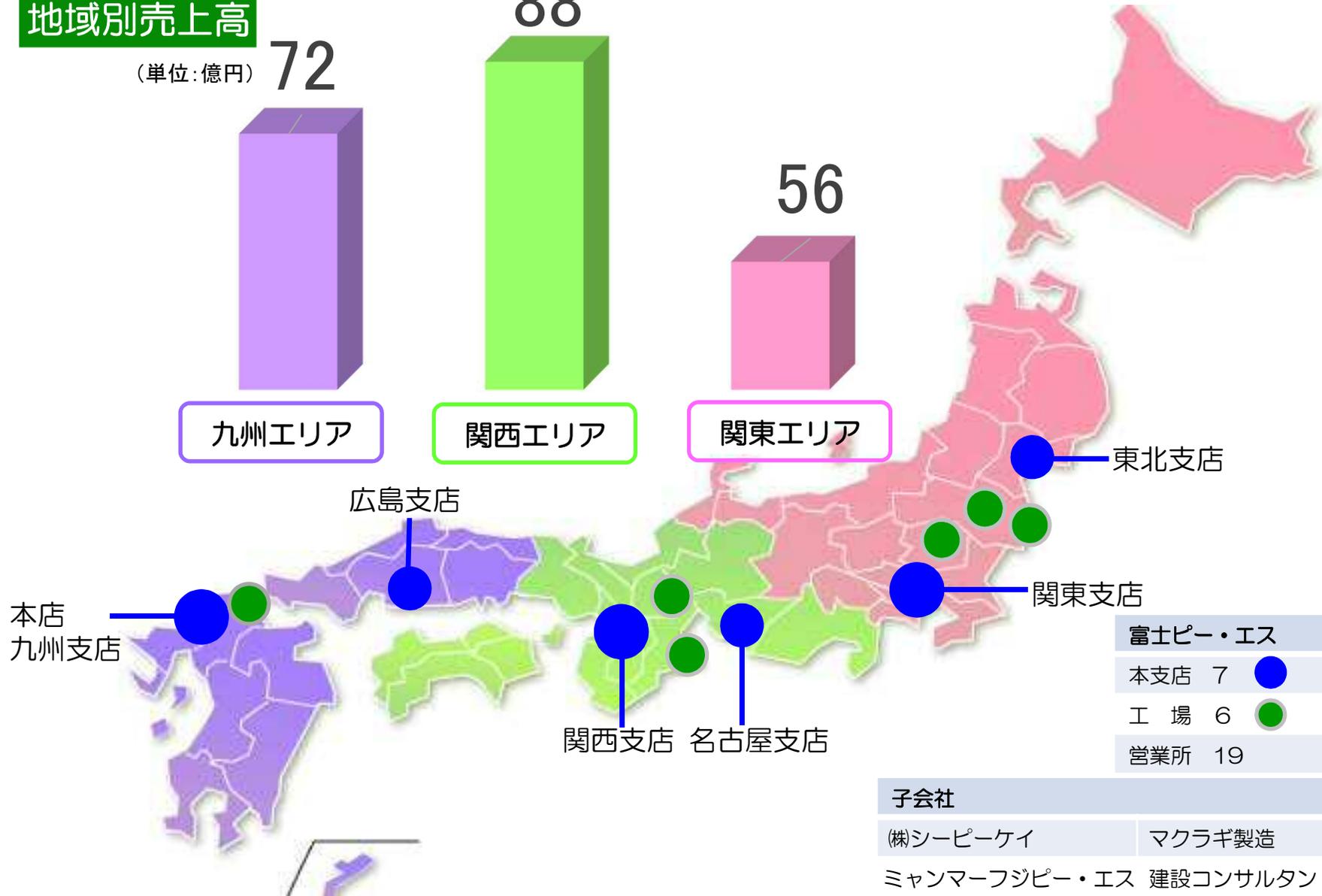


関西エリア

56



関東エリア



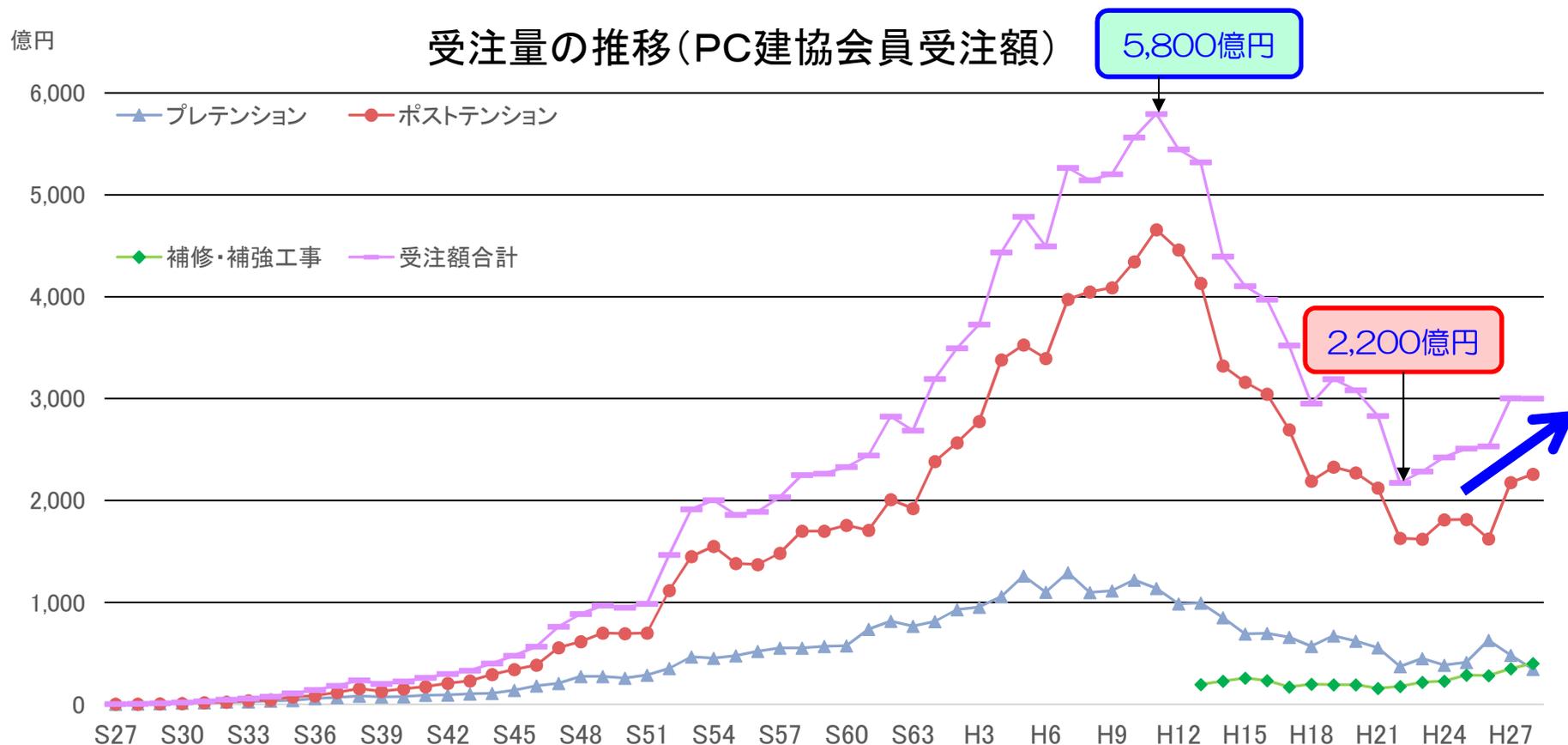
富士ピー・エス	
本支店	7 ●
工場	6 ●
営業所	19

子会社	
(株)シーピーケイ	マクラギ製造
マンマーフジピー・エス	建設コンサルタント等

好機を活かす  
新たな挑戦  
中期経営計画  
VISION2016

# 市場環境

減少を続けていた建設投資が緩やかながら回復基調に



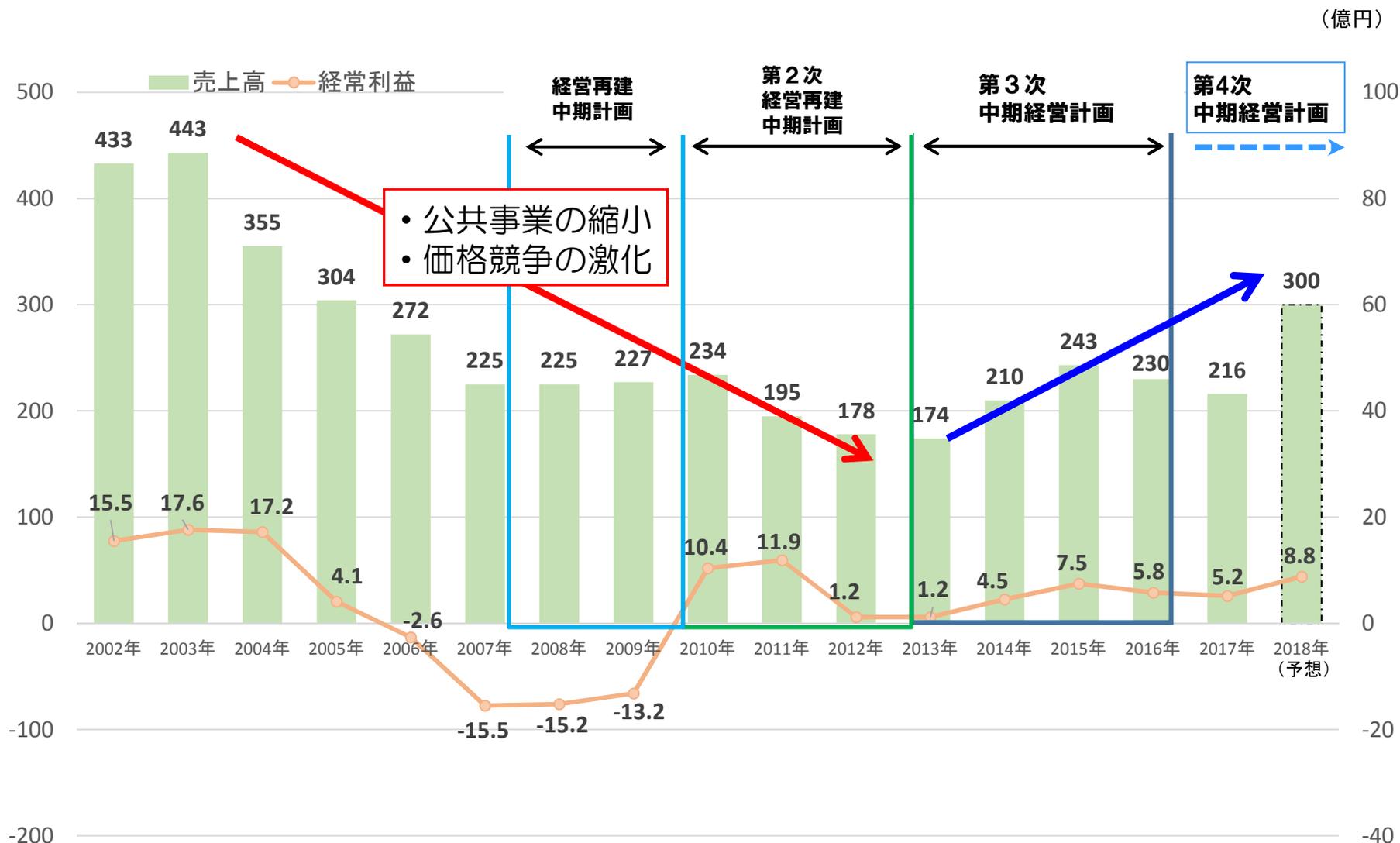
要因として・・・

- 1** 震災復興の本格化
- 2** 国土強靱化の推進
- 3** 2020年東京オリンピック開催

出所：(一社)PC建設業協会

# 業績推移

経営改革の実施、市場環境の好転で業績は回復基調！



# 連結決算概要

## 2016年3月期実績

→受注高は2004年3月期以来の300億円超えを達成

## 2017年3月期実績

→建築事業の一部工事が遅延したことにより減収減益

## 2018年3月期(予想)

→手持工事の順調な進捗により売上高300億円を見込み増収増益

(単位:百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期(予想)	
		増減率		増減率		増減率
受注高	30,266	32.2%	22,934	△24.2%	25,100	9.4%
売上高	23,014	△5.9%	21,650	△5.9%	30,000	38.6%
営業利益	624	△23.0%	543	△12.9%	920	69.3%
経常利益	586	△28.3%	520	△11.3%	880	69.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	496	△29.6%	534	7.7%	720	34.7%

# 中期経営計画 VISION2016

市場環境が変わりつつある今だからこそ、新たな市場獲得のチャンス

1

## 基本方針

1. 売上高300億円超を目指す
2. 2025年までに建築売上比率を40%に高める（建築売上高125億円）
3. 営業利益率3%超の確保
4. 2018年までに東証二部から一部への市場替え
5. 2025年までに海外売上比率10%

2

## 投資方針

1. 年間3億円の設備投資
2. 工場生産能力増強
3. 売上高比率0.3%の開発費

3

## 財務方針

- 3年目以降ROE7%の維持

4

## 株主還元方針

- 配当性向20%超の継続

# 中期経営計画

## VISION2016

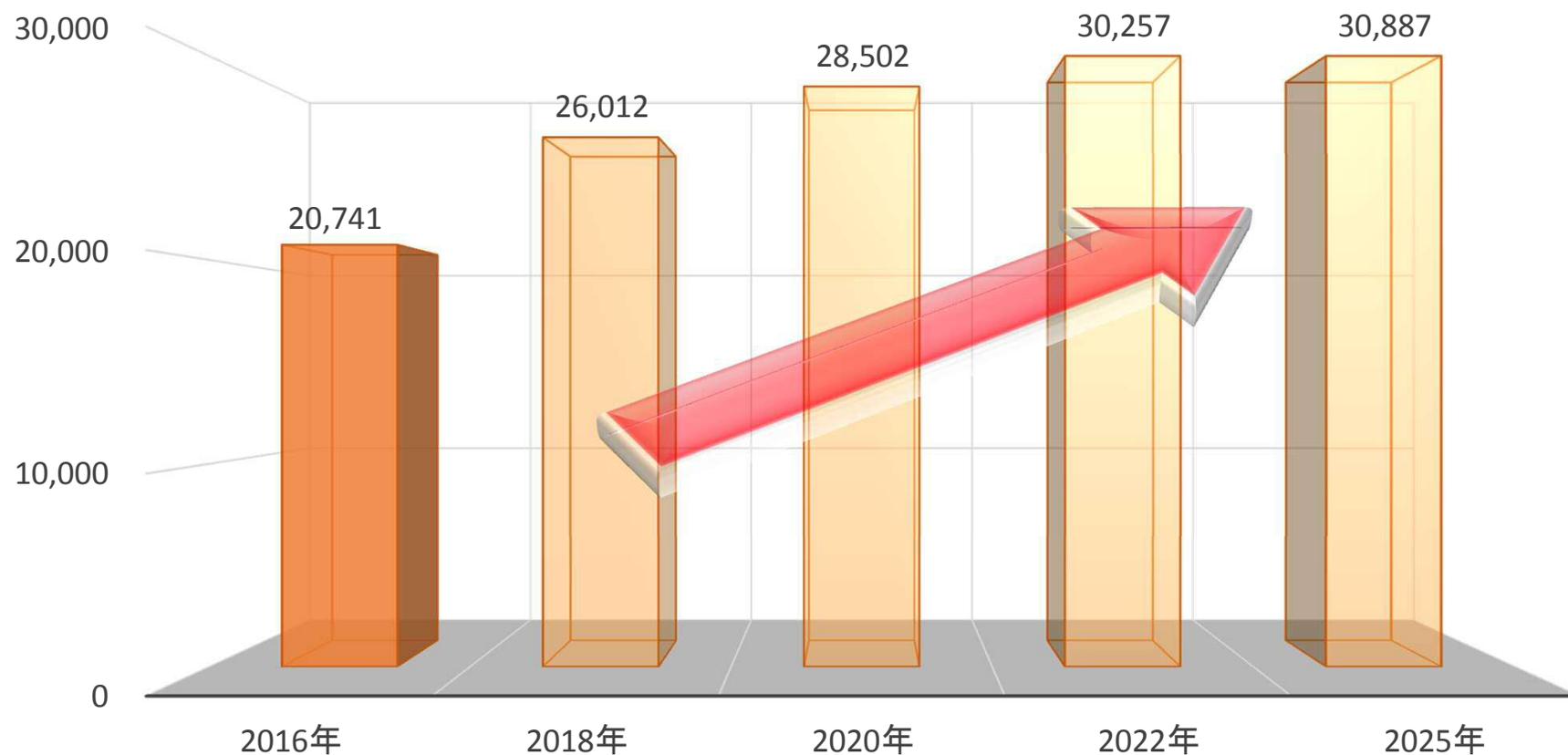
### 財務目標値

									
		1年目	3年目	5年目	7年目	10年目			
(年度)		2015	2016	2018	2020	2022	2025		
			実績						
売上高	(百万円)	22,171	23,735	26,012	28,502	30,257	30,887		
営業利益	(百万円)	576	472	636	974	1,191	1,160		
営業利益率	%	2.6	2.0	2.4	3.4	3.9	3.8		
当期利益	(百万円)	474	504	533	660	807	786		
自己資本比率	%	33	34	35	36	39	43		
配当/株	(円)	5.0	8.0	8.0	10.0	10.0	10.0		
配当性向	%	18.7	28.1	26.6	26.8	22.0	22.5		
ROE	%	7.6	7.6	7.5	8.2	8.7	7.1		

# 中期経営計画 VISION2016

(百万円)

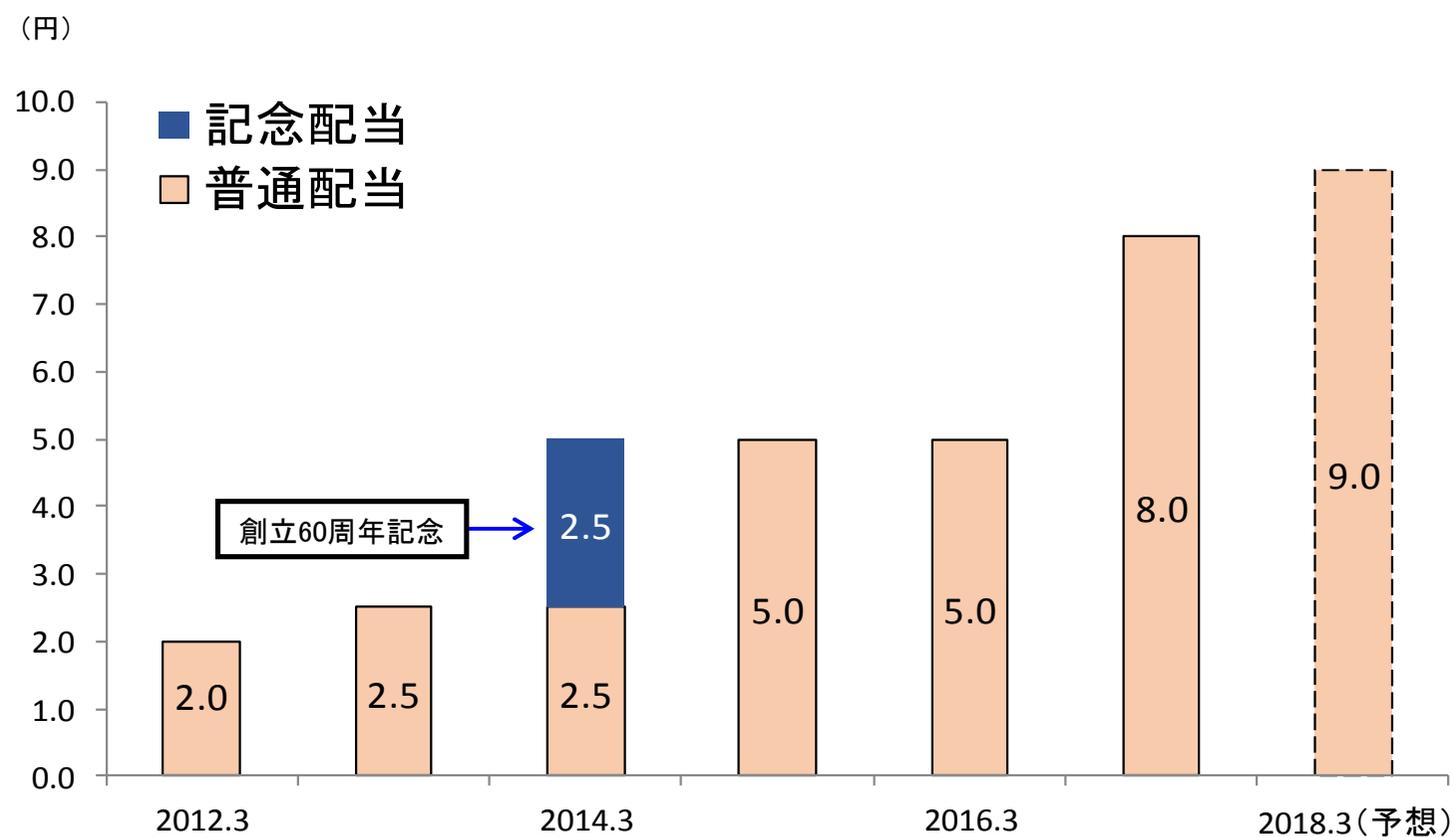
## 売上高目標値



# 配当方針

# 配当方針

「財務体質の強化」と「積極的な事業展開に必要な内部留保の充実」を図りながら、安定配当を実施する



# (参考)株価推移



(C) 2017 Yahoo Japan Corporation.

<https://stocks.finance.yahoo.co..>

## 《注意事項》

本資料は情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。

また、将来の業績等に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の判断にあたりましては、ご自身の判断により行って下さい。

本説明会に関するご意見やお問い合わせにつきましては、IR担当までお願いいたします。

IR担当 経営企画室

TEL092-721-3473 FAX092-721-3460

メールでのお問い合わせは当社ホームページよりご連絡ください。

URL : <http://www.fujiips.co.jp>